



「プログラミング学習作品発表会」を開催しました



1月29日(木)に、理数科2年生による「プログラミング学習作品発表会」を実施しました。プログラミング言語「Scratch」を教材として、各班4人で協力して、音やセンサーの向きによって動きを制御するロボット、キーボードでキャラクターの動きを制御するゲーム等を、自分達で考えて製作しました。発表会では、どのような動きがどのようなプログラミングで制御されているかを説明しました。

九州工業大学教養教育院長 西野和典 先生からは、「問題解決では、現状と目標のギャップを問題というが、プログラミングをしていると思った通りに動かないというギャップがあったと思う。作品を完成させるまで、何回もデバッグを繰り返したのではないか。このような問題解決をしていく過程を学ぶことが貴重な。作品を見ていて苦労の跡が見えたが、この苦労が生きる。ぜひこのような取り組みを継続して欲しい。」との講評をいただきました。

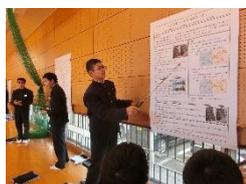
また、プログラミング学習で指導いただいた、同大学4年生 松島拓路 先生からは、「プログラミングを皆さんに教えることで、自分にとっても学ぶことができた。トライアンドエラーやPDCAサイクルは、今後にも生かしてほしい。」とのお話がありました。

この学習では、PDCA サイクルによる課題発見・解決の経験を重ね、課題発見・解決に係わる資質・能力を身に付けることがねらいの1つです。この経験を今後の研究活動にも生かしてほしいと思います。

「第18回佐賀県理科・化学教育研究発表会」に参加しました

12月8日(土)に、佐賀大学で「第18回佐賀県理科・化学教育研究発表会」が開催されました。本校からは科学部が参加し、「サクラの葉による発芽・成長抑制」の研究を発表しました。

「Jr. 課題研究中間発表会」が開催されました



12月14日(金)に、中学3年生による「Jr. 課題研究中間発表会」が実施されました。4月から、総合的な学習の時間の学習活動として取り組んできた研究活動をポスターセッション形式で発表しました。自分達で設定した仮説を実験によって検証した経験を、高校での課題研究や探究活動に生かしてほしいと思います。